

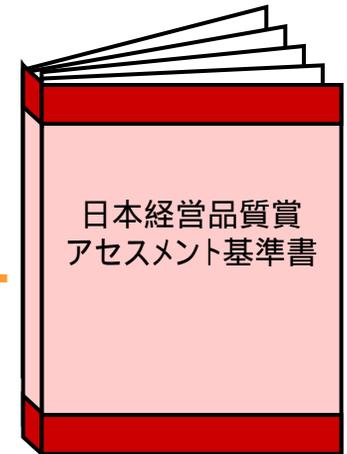
「経営品質クイック診断」のご紹介



株式会社 日本総合研究所
The Japan Research Institute, Limited

経営品質セルフアセスメントとは？

「日本経営品質賞アセスメント基準書」を基にして、自社の経営の考え方や運営方法を評価し、自社の強み・弱みを認識した上で、今後の改善・改革の方向性を明確にする。



経営品質活動書

組織プロフィール

- ・経営ビジョン
- ・経営環境など

方法 / 展開 / 結果

- ・経営の考え方や運営方法の実情
- ・経営の実績

準備段階で作成(約50ページ)

到達目標！

制約条件など

基本理念
重視する考え方
フレームワーク
あるべき姿
チェックポイント

アセッサー
による評価

個別評価と合議

フィードバック・レポート

自社の経営品質レベル
自社の経営の強み・弱み
改善・改革の方向性

経営品質クイック診断とは？

経営品質セルフアセスメントは、経営の考え方や運営方法を見直し、今後の方向性を定めるのに有効な方法である

しかしセルフアセスメントのすべてのステップを丁寧に実施していくと、時間と手間がそれなりにかかる(最初は3ヶ月程度かかる)

【準備】

- ・経営品質活動書の作成。
 - 組織プロフィール
 - 方法 / 展開
 - 結果



【評価】

- ・アセッサーによる個別評価。
- ・アセッサーによる合議。
- ・レポート作成とフィードバック会議。

もう少し簡単にアセスメントできないか？

「経営品質クイック診断のためのチェックリスト」

日本総研にて作成

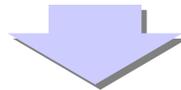
「経営品質クイック診断のためのチェックリスト」の特徴

準備段階における資料の作成を簡素化。

- 「組織プロフィール」はチェックシートに簡素化して記述。
- 「方法 / 展開 / 結果」はチェックシート上のメモで代用。

評価は原則として日本総研主導で実施するが、お客様組織との共同作業も可能。個別評価から合議という流れにはこだわらない。

実際の状況を確認するインタビューは、短時間で済ませても、多少時間をかけてもよい(時間をかけると結果の精度が向上する)。



アセスメントの精度は落ちるが、時間と手間をかけずに自社の経営品質レベルを診断できる。

自社の強み、弱みはもちろん、改善・改革に関する提言もアウトプットできる。

経営品質のフレームワークに加え、日本総研が独自に追加したカテゴリーを含めて実施することもできる(「全体最適の経営の仕組み」、「ナレッジ・マネジメント」)。

経営品質を簡易的に体験してみる目的でも使用できる。

チェック項目の例(1)

1.0 経営幹部のリーダーシップ

1.1 経営幹部のリーダーシップ

(1) 経営理念・ビジョン・経営方針について

経営理念・ビジョンは、社員や社外の利害関係者(顧客、株主、債権者、ビジネス・パートナー、地域社会など)の賛同・共感を得られる形で明確になっていますか？

自己評価	5	4	3	2	1	×	記入者重要度		JRI評価	A	B	C
------	---	---	---	---	---	---	--------	--	-------	---	---	---

コメント(自己評価の根拠となる具体的な活動)

経営理念・ビジョンは.....

チェック項目の例(2)

3.0 顧客・市場の理解と対応

3.2 顧客からの意見や苦情への対応

- (1) 顧客が貴社に対して情報や支援を求めたり、意見・苦情を述べたりすることができる顧客窓口が明確にされ、それが顧客に最適な方法で知らされていますか？

自己評価	5	4	3	2	1	×	記入者重要度		JRI評価	A	B	C
------	---	---	---	---	---	---	--------	--	-------	---	---	---

コメント(自己評価の根拠となる具体的な活動)

- (2) 顧客対応基準.....

クイック診断の進め方(標準的なパターン)

(お客様組織)

(日本総研)

チェック項目に対する回答の記入

所要日数:
1週間程度

お客様組織にて「経営品質クイック診断のためのチェックリスト」の各チェック項目の分野に詳しい方が、それぞれ回答/記入する。

所要日数:
1~2週間程度

回答に基づく
評価

日本総研にて、チェックリストへの記入内容に基づき、一次評価を行う。

記入内容に関するインタビューの実施

所要日数:1~2日程度

記入していただいた内容をさらに詳しく理解するために、インタビューを実施する。各チェック項目の分野に詳しい方にご対応いただく。

所要日数:
1~2週間程度

回答・インタビュー
に基づく評価、
報告書作成

日本総研にて、チェックリストへの記入内容、インタビュー結果に基づき、二次評価を行う。また、その結果を報告書に取りまとめる。

評価結果のフィードバック

所要時間:2~3時間程度

評価結果について、フィードバックを行う。

報告書の内容(標準的な例)

総合評価

総合評点
組織全体の強み
組織全体の弱み
改善・改革への提言

カテゴリーごとの評価

個別評点

改善・改革提言

